

資 源 開 発

教 授 難 波 恒 雄
助 教 授 服 部 征 雄
助 手 御 影 雅 幸
文部技官 布 目 慎 勇

◆ 著書および編著

- 1) 難波恒雄著：原色和漢薬図鑑，全2巻，保育社，1980。
- 2) 難波恒雄編著，大阪屋四郎兵衛原著：増補手板発蒙，大阪漢方医学研究所叢書，第1輯，大阪漢方医学研究所，1980。

◆ 原 著

- 1) 難波恒雄，林 俊清：漢薬「王不留行」の生薬学的研究(第1報)，本草文献の考察，生薬学雑誌 34(1)：25-37，1980。
- 2) 難波恒雄，林 俊清：漢薬「王不留行」の生薬学的研究(第2報)，台湾産王不留行について(I)，生薬学雑誌 34(1)：38-49，1980。
- 3) 難波恒雄，林 俊清：漢薬「王不留行」の生薬学的研究(第3報)，台湾産王不留行について(II)，生薬学雑誌 34(1)：50-56，1980。
- 4) 難波恒雄，御影雅幸，長江京子：「鹿蹄草」の生薬学的研究(第2報)，長野県産鹿蹄草について，生薬学雑誌 34(2)：97-109，1980。
- 5) Kobashi K., Nishimura T., Kusaka M., Hattori M. and Namba T.: Metabolism of Sennosides by human intestinal bacteria, Planta Medica 40(3)：225-236，1980。
- 6) 奥野 勇，故岡西為人，野呂征男，難波恒雄：日本産茵陳蒿の生薬学的研究(第4報)，オトコヨモギとハマオトコヨモギの頭状花序について，生薬学雑誌 34(3)：182-186，1980。
- 7) 難波恒雄，裒 基煥，赤井香予：竹葉およびタケ科植物の生薬学的研究(I)，中国産淡竹葉について，生薬学雑誌 34(4)：280-291，1980。

◆ 総説・その他

- 1) 難波恒雄：生薬解説・紫根，漢方医学 4(1)：1-2，1980。
- 2) 難波恒雄：生薬解説・紫菀，漢方医学 4(2)：1-2，1980。
- 3) 難波恒雄，服部征雄：生薬の品質評価，医薬ジャーナル 16(2)：109-114，1980。
- 4) 難波恒雄：生薬解説・黄連，漢方医学 4(3)：1-2，1980。
- 5) 難波恒雄：インドネシア・スリランカの天然

薬物調査の旅から，学園だより 6：6-8，1980。

- 6) 難波恒雄：生薬解説・黄柏，漢方医学 4(4)：1-2，1980。
- 7) 難波恒雄：生薬解説・牛膝と川牛膝，漢方医学 4(5)：1-2，1980。
- 8) 難波恒雄：スリランカの医療と薬草，とやま県医報 782：28-29，1980。
- 9) 難波恒雄：生薬解説・決明子と土草決明，漢方医学 4(6)：1-2，1980。
- 10) 難波恒雄：質疑応答—鞭仔片について—，日本医事新報 2930：134-135，1980。
- 11) 難波恒雄：生薬解説・升麻，漢方医学 4(7)：1-2，1980。
- 12) 難波恒雄：質疑応答—枯藁薤白白酒湯の適応と心臓病—，日本医事新報 2933：151，1980。
- 13) 難波恒雄：続々漢方薬への招待1・中医と漢方，家庭薬新聞 1269：6，1980。
- 14) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待2・貴重な資料出土，家庭薬新聞 1270：4，1980。
- 15) 難波恒雄：生薬解説・辛夷，漢方医学 4(8)：1-2，1980。
- 16) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待3・底野迦(テリアカ)，家庭薬新聞 1272：10，1980。
- 17) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待4・阿片(アヘン)，家庭薬新聞 1273：4，1980。
- 18) 難波恒雄：質疑応答—人参の成分と効用—，日本医事新報 2938：134-135，1980。
- 19) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待5・厚朴(コウボク)，家庭薬新聞 1274：8，1980。
- 20) 難波恒雄：生薬解説・山豆根，漢方医学 4(9)：1-2，1980。
- 21) 難波恒雄：スリランカの医療と薬草，薬業通信講座 57：2-3，1980。
- 22) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待6・木通(モクツウ)，家庭薬新聞 1276：7，1980。
- 23) 難波恒雄：質疑応答—追風透骨丸(香港)の成分効用等—，日本医事新報 2941：142-143，1980。
- 24) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待7・紫蘇(シソ)，家庭薬新聞 1277：6，1980。
- 25) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待8・忍冬(ニンドウ)，家庭薬新聞 1278：6，1980。
- 26) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待9・五苓散(ごれいさん)，家庭薬新聞 1279：8，

1980.

27) 難波恒雄：生薬解説・黄耆，漢方医学 4(10)：1-2，1980.

28) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待 10・茯苓（ブクリョウ）と猪苓（チョレイ），家庭薬新聞 1280：4，1980.

29) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待 11・白僵蚕（ビヤッキョウサン），家庭薬新聞 1281：8，1980.

30) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待 12・桑（クワ），家庭薬新聞 1282：8，1980.

31) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待 13・枸杞（クコ），家庭薬新聞 1283：8，1980.

32) 難波恒雄解題，大塚敬節，矢数道明責任編集：内藤尚賢，近世漢方医学書集成 56：9-55 1980.

33) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待 14：弟切草（オトギリソウ），家庭薬新聞 1284：8，1980.

34) 難波恒雄：生薬解説・半夏，漢方医学 4(11)：1-2，1980.

35) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待 15：抵当湯（ていとうとう），家庭薬新聞 1285：7，1980.

36) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待 16：水蛭（スイテツ），家庭薬新聞 1286：8，1980.

37) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待 17：蛇虫（ボウチュウ），家庭薬新聞 1287：7，1980.

38) 難波恒雄：お風呂と健康，シルバーニュース，秋：11-12，1980.

39) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待 18：茵陈蒿（インチンコウ），家庭薬新聞 1288：4，1980.

40) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待 19：牡丹皮（ボタンピ），家庭薬新聞 1289：6，1980.

41) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待 20・接骨木（セッコツボク），家庭薬新聞 1290：6，1980.

42) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待 21・菊花（キクカ），家庭薬新聞 1291：9，1980.

43) 難波恒雄：スリランカのセイロン桂皮，薬業通信講座 58：2-4，1980.

44) 難波恒雄，御影雅幸：続々漢方薬への招待 22・薊（アザミ），家庭薬新聞 1292：7，1980.

◆ 学会報告

1) 服部征雄，難波恒雄，Joe Frazier，H. T. Miles：モノヌクレオチド・ポリヌクレオチド相互作用の研究，グアノシン誘導体とポリシチジル酸との複合体形成，日本薬学会第100年会，1980. 4，東京.

2) 菊池 徹，門田重利，末原 久，難波恒雄：一点廣（*Nervilia purpurea* および *Nervilia aragoana*）の成分研究(2)，日本薬学会第100年会，1980. 4，東京.

3) 難波恒雄，韓 学宣，服部征雄，小橋恭一：腸内細菌による代謝，Sennoside A，Bの代謝変換，日本薬学会第100年会，1980. 4，東京.

4) 難波恒雄，御影雅幸：Clematis 属植物とその関連生薬の研究(IV)，「威霊仙」の本草学的考察，日本薬学会第100年会，1980. 4，東京.

5) 難波恒雄，林 俊清，甘 偉松：台湾における薬物資源の研究（第16報），金線連について，日本薬学会第100年会，1980. 4，東京.

6) 難波恒雄，御影雅幸，小松かつ子：地膚子および芫蔚子の生薬学的研究，日本薬学会第100年会，1980. 4，東京.

7) 難波恒雄，布目慎勇，裒 基煥：生薬の品質評価に関する基礎研究（第14報），各国産市場厚朴について，日本薬学会第100年会，1980. 4，東京.

8) 稲垣建二，布目慎勇，難波恒雄：昆虫と漢薬の生薬学的研究(V)，蛻螂について，日本薬学会第100年会，1980. 4，東京.

9) 難波恒雄：生薬の形態学的，顕微化学的品質評価法の役割，日本薬学会第100年会，1980. 4，東京.

10) 野口 衛，谷口サチ子，難波恒雄：漢方製剤の薬剤学的品質評価に関する研究(VI)，漢方エキス製剤製造時の麻黄中のアルカロイドの挙動について，日本薬学会第100年会，1980. 4，東京.

11) 難波恒雄，荒木郁子，御影雅幸，服部征雄：陳皮・枳実その他ミカン類生薬の研究（第2報），果皮の成長に伴う成分変化，日本薬学会第100年会，1980. 4，東京.

12) 難波恒雄，布目慎勇，服部征雄，稲垣建二：昆虫と漢薬の生薬学的研究(VI)，紅娘子の成分研究，日本薬学会第100年会，1980. 4，東京.

13) 難波恒雄，菊池 徹，門田重利，御影雅幸，小松かつ子，清水岑夫，富森 毅：スリランカにおける天然薬物資源の研究（第1報），セイロンケイヒについて，日本生薬学会第27年会，1980. 9，名古屋.

14) 難波恒雄，林 俊清，甘 偉松，林 讃標：

台湾における薬物資源の研究(第17報), 青石蛋について, 日本生薬学会第27年会, 1980. 9, 名古屋.

15) 難波恒雄, 経塚真砂, 服部征雄: 和漢薬によるウ蝕予防に関する研究(第1報), ウ蝕原性菌に対する和漢薬の抗菌作用, 日本生薬学会第27年会, 1980. 9, 名古屋.

16) 難波恒雄, 御影雅幸, 牛山つや子: 生薬の品質評価に関する基礎研究(第15報), 電子顕微鏡による生薬分析(3)黄連組織中のアルカロイドの分布, 日本生薬学会第27年会, 1980. 9, 名古屋.

17) 難波恒雄, 布目慎勇, 服部征雄: 和漢薬資源の開発(第1報), 魚胆について(1), 日本生薬学会第27年会, 1980. 9, 名古屋.

18) 難波恒雄, 西村 正, 日下まち子, 韓 学宣, 服部征雄, 小橋恭一: 腸内細菌対大黃成分—番瀉苷—の代謝, 世界中國醫藥學術大會, 1980. 10, 台北.

19) 菊池 徹, 門田重利, 末原 久, 難波恒雄: 一点廣の新トリテルペン, サイクロネルピロールおよびサイクロホモネルピロールの構造, 第23回天然有機化合物討論会, 1980. 10, 名古屋.

生 物 試 験

教 授 渡 辺 和 夫
助 教 授 渡 辺 裕 司
助 手 後 藤 義 明
文部技官 萩 原 昌 樹

◆ 原 著

1) Watanabe K. and Hagiwara M. M.: Aggravating effect of serotonin on gastric ulceration induced by thermocautery under the healing process in mice. *Japan. J. Pharmacol.* **30**: 377—387, 1980.

2) 渡辺裕司, 渡辺和夫: 骨格筋緊張の中樞ドーパミン作動性調節機構と和漢薬作用, とくに厚朴および甘草の作用, 和漢薬シンポジウム記録 **13**: 16—20, 1980.

3) Hagiwara M. M. and Watanabe K.: Possible involvement of vasoactive factors in serotonin-induced aggravation of thermocauterization ulcer in mice. *Experimental Ulcer* **7**: 165—166, 1980.

4) Goto Y. and Watanabe K.: Influence of GABA-related agents on water-immersion stress ulcers and gastric acid secretion in the rat, *Experimental Ulcer* **7**: 167—169, 1980.

◆ 抄 録

1) Watanabe H., Ikeda M. and Watanabe K.: Effects of isoquinoline derivatives on central dopaminergic mechanism: Behavioural and fluorescence histochemical studies in mice. *Japan. J. Pharmacol.* **30**: suppl. 70p, 1980.

2) Goto Y., Watanabe K. and Kikuma M.: Effect of beta-(p-chlorophenyl)- γ -aminobutyric acid (PCPGABA) on the rat gastric acid secretion: In comparison with phenylalanine derivatives related to C-terminal amino acid of gastrin. *Japan. J. Pharmacol.* **30**: suppl. 220p, 1980.

3) 後藤義明, 渡辺和夫: 迷走神経刺激によるラットの胃酸分泌に対する H_2 -Antagonist, Cimetidine の抑制効果, 日薬理誌. **76**(2): 52p, 1980.

◆ 学会報告

1) 後藤義明, 渡辺和夫, 菊間美代子: ラット胃液分泌に及ぼす β -(p-クロロフェニル)- γ -アミノ酪酸の作用: ガストリンC末端化学構造との関連性, 第53回日本薬理学会総会, 1980. 3, 岐阜.

2) 渡辺裕司, 池田茂美子, 渡辺和夫: Isoquinoline 誘導体のドーパミン作動性中枢機構に対する作用: 行動薬理学的・蛍光組織化学的側面, 第53回日本薬理学会総会, 1980. 3, 岐阜.

3) 渡辺和夫, 渡辺裕司, 後藤義明: 漢薬厚朴の中樞作用の薬理, 日本薬学会第100年会, 1980. 4, 東京.

4) 後藤義明, 渡辺和夫: 迷走神経性胃液分泌調節機構と薬物作用, 日本薬学会第100年会, 1980. 4, 東京.

5) 後藤義明, 渡辺和夫, 萩原昌樹: ラットの神経性胃液分泌反応のプロスタグランジンによる抑制, 日本薬学会第100年会, 1980. 4, 東京.

6) 渡辺和夫, 渡辺裕司, 後藤義明, 金岡聖子: マウス摘出胃の迷走神経刺激による胃酸分泌反応とこれに対するシメチジン, compound 48/80の抑制効果, 日本薬学会第100年会, 1980. 4, 東京.

7) 後藤義明, 渡辺和夫, 萩原昌樹: プロスタグランジンのラット胃液分泌抑制作用に及ぼすセロトニン関連薬物の影響, 第31回日本薬理学会北部会, 1980. 8, 旭川.

8) 渡辺和夫, 後藤義明, 原 信行, 金岡聖子: 実験的ストレス潰瘍の神経性要因と厚朴の抗潰瘍作用, 第14回和漢薬シンポジウム, 1980. 8, 富山.

9) Goto Y. and Watanabe K.: Inhibitory mechanism of calcitonin on vagally induced gas-